

## 福岡県公安委員会活動状況

### <定例会の主な議題及び要旨>

平成29年12月21日（木）

#### 【報告事項】

#### 1 9月定例県議会の結果について

（総務部）

警察本部から「12月定例県議会は、20日間の会期を終え、12月20日に閉会した。本会議の代表質問では、運転免許試験場への医療関係者配置や高齢者講習制度の概要等について、一般質問では、覚醒剤事犯の現状、対策並びに暴力団の関与等について及びいわゆる民泊に係る違法事業者への警察の対応について質問が行われた。また、警察委員会では、福岡県一般会計補正予算ほか1件の審査等が行われた。」旨の報告があった。

#### 2 監察関係報告について

（警務部）

警察本部から「博多警察署員による窃盗事案について、12月21日付けで当該職員を懲戒処分（停職3月）とする。また、機動警察隊員による盗撮等事案について、同日付で当該職員を懲戒処分（停職3月）とする。」旨の報告があった。

公安委員から「公安委員が、警察学校の学生を対象に、少人数での講話を行っているが、その中から続けて非違事案を起こす者が出てくると情けなく感じる。動機が軽く、基本的には道徳や倫理観などの躰教育に起因するものであり、対策は難しいと感じるが、教養は続けていかなければならないと思う。」「年明けに警察学校での講話を予定しているが、改めて今回の件を取り入れ、これから先の人生で、警察官として40年近く生きる必要があり、警察を辞めなければならないという最悪の事態を常に考えて行動しなければならないことを強く伝えたいと思う。」旨の発言があった。

#### 【その他の報告事項】

○ 警察本部から「12月18日、筑後川の河川敷で豪雨災害の行方不明者のご遺体を発見した。これまで36体のご遺体を収容しており、行方不明の方はあと2人となっている。発見現場は、流木が積み重なりこれまで人力では捜索が難しかったところである。今後も、関係自治体から捜索の協力依頼があれば、機動隊を投入して発見に努めていきたい。」旨の報告があった。

公安委員から「先日、朝倉警察署を督励し、署長から話を聞いたが、災害後の対応も重視しているとのことであった。例えばだが、県警察の年頭視閲等に被災者が参加したいといった場合などは、警察本部もバスを派遣するなどして協力していただきたいと思う。」旨の発言があった。

○ 警察本部から「本年の情勢として、刑法犯認知件数は前年比で約1割減少し、戦後最小となった昨年を下回る見通しである。交通事故死者数は、前年と同程度又は上回る可能性もあるが、人身事故自体は大きく減少している。暴力団関係では、重要事件を検挙するなど成果は挙がっているが、未解決の重要事件もあるので対策を更に進めていきたい。不適正事案については、警察学校卒業後の者に対しても教養を繰り返して、その効果を見ていくとともに、身上把握を徹底し組織に反映していく。先般、公安委員会から平成30年の運営指針を決定していただいたが、これに従い今年以上の成果を上げていきたい。年明けの署長会議でも指示していく。」旨の発言があった。